

世界の平和を創っていこう！！

所属	愛知県弥富市立弥富北中学校	実践者	近藤 勝士
対象	中学2年生	時間数	8時間
場所	体育館、武道場	実践教科	総合的な学習の時間
ねらい	人類共通の課題(17 の「持続可能な開発のためのグローバル目標」SDGs)に目を向け、よりよい世界をきずくための生き方や自分たちにできることを考える。		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	◆『エチオピアってどんな国?』 《肯定的な出会い》 ・グループ対抗エチオピアクイズ大会を通して、エチオピアを知る。【クイズ】 ・教師海外研修の様子の紹介を通して、エチオピアを知る【写真の紹介】	パワーポイント資料 エチオピアクイズ
	2	◆『エチオピアと日本とのつながり』 《つながり・同一性を見つける》 ・エチオピアの写真をスライドで見て、グループで考える。【フォトランゲージ】 ・日本と“似ている点”と“違う点”を考え、対比表を作成する。【対比表】	パワーポイント資料 エチオピアの写真 模造紙(対比表)
	3	◆『みんな違っていい』 《多様性を認める》 ・“もしも世界中の人がみんな同じだったらどうなる?”を考え、書き出す。【フレンストーミング】 ・縦軸を「世界とクラス」、横軸を「よいとよくない」にして、二次元軸を作成する。【二次元軸】	パワーポイント資料 付箋(フレンストーミング) 模造紙(二次元軸)
	4	◆『あってよい違い・よくない違い』 《課題を見つける①》 ・以前に作成した対比表の“日本と違う点”に注目し、“あってよい違い”と“あってはいけない違い”の対比表を作成する。【対比表】	パワーポイント資料 模造紙(対比表)
	5	◆『SDGs の理解を深め、戦争の原因を考える。』 《課題を見つける②》 ・SDGs の資料を読んで、グループ内で情報交換する。【ワールドカフェ方式】 ・「戦争が起きるとどうなるか?」を考え、派生図を作成する。【派生図】	パワーポイント資料 模造紙(派生図)
	6	◆『よくない違いはどこからくる?』 《課題の原因を考える》 ・今の自分が考える世界の課題を付箋に書き出す。【フレンストーミング】 ・課題の原因を掘り下げて考え、因果関係図を作成する。【因果関係図】	パワーポイント資料 付箋(フレンストーミング) 模造紙(因果関係図)
	7	◆『世界がよりよくなるには?』 《自分にできることを考える①》 ・日常の課題を解決するための行動と阻む行動を考える。【力の分析】 ・持続可能な未来の実現のために、何を優先していくのかを考える。【ランキング】	パワーポイント資料 A3 用紙(力の分析) ワークシート(ランキング)
	8	◆『世界の平和をめざして』 《自分にできることを考える②》 ・「平和とは?」を書き出し、積極的平和と消極的平和に仲間分けする。【KJ 法】 ・「自分にできること」「仲間とできること」「国のできること」という視点でそれぞれ 3 つを考えて書く。【できることビンゴ】	パワーポイント資料 付箋(フレンストーミング) 模造紙(KJ 法) A3 用紙(ビンゴ)
成果	参加型の学習を通して、生徒達が積極的に意見を出し合うことができた。また、世界に目を向け、自分たちに何かできないかと考えるようになった。		
課題	年間を通したプログラムの作成や、総合的な学習の時間に限らず、各教科においても積極的に参加型の手法を取り入れ、生徒達の学びを深めていきたい。		
備考	いろいろなアクティビティを経験することで、自分自身の日常の中でも、その手法を使って何か考えてみようとする生徒がでてきた。		

[授業実践の詳細]

1 時限目「エチオピアってどんな国？」

この時限のねらい《肯定的な出会い》

- ・グループ対抗エチオピアクイズ大会を通して、エチピアを知り、肯定的に出会う。【クイズ】
- ・教師海外研修の様子を紹介を通して、エチオピアを知り、肯定的に出会う。【写真の紹介】

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング
 - ・グループ(約6人)内で一言自己紹介。お題は、「昨日の午後何をしていたか?」「今日、起きた時間」「最近嬉しかったこと」「5歳のときの夢」の4つ。
- ② グループ対抗エチオピアクイズ【クイズ】
 - ・チーム対抗で正解数を競うクイズ大会。クイズの内容は、
「Q1 エチオピアはどこ?」「Q2 首都アディスアベバの標高は?」
「Q3 エチオピアで有名なものは?」「Q4 エチオピア人の主食は?」
「Q5 主食の味は?」「Q6 エチオピア暦で1年は何ヶ月?」
「Q7 エチオピアで「チマキ」とは?」「Q8 エチオピアでコーヒータイムにかかる時間は?」
「Q9 エチオピア人の名前は?」「Q10 エチオピア人の性格は?」の10問。
- ③ 教師海外研修の様子を紹介【写真の紹介】
 - ・エチオピアの写真を通して、エチオピアについて知り、情報をメモ用紙にメモしていく。
- ④ 振り返り・感想を書いて、共有する。前の活動で得た情報も共有・交換する。



<授業の様子>

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ グループ対抗のクイズ大会に楽しく参加している姿が見られた。
- ◇ エチオピアの様子を紹介を受け、真剣にメモをとる姿が見られた。
- ◇ 事前の調査では、「マラソン」「コーヒー」ぐらいの情報しかもっていなかったが、授業を通して、エチオピアについて多くの情報を知ることができていた。エチオピアという国に肯定的に出会えた様子が見られた。

3 使用した教材

- <教材1> エチオピアクイズ パワーポイント
- <教材2> 教師海外研修紹介 パワーポイント



<クイズ大会・エチオピア紹介で使用したスライド>

2 時限目「エチオピアと日本とのつながり」

この時限のねらい 《つながり・同一性を見つける》

- ・エチオピアの写真をスライドで見て、気づいたこと考えたことをグループで共有する。【フォトランゲージ】
- ・日本と“似ている点”と“違う点”を考え、対比表を作成し、つながり・同一性を見つける。【対比表】

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング
 - ・グループ(約6人)内で一言自己紹介。お題は、「三連休でしたこと」「自分の好きな色」「行ってみたいところ」の3つ。
- ② フォトランゲージでエチオピアについての情報を知る。【フォトランゲージ】
 - ・教師海外研修で撮影してきた写真(100枚以上)のスライドショーを見て、衣、食、住、文化、生活、学校、子ども、人などの観点で気付いたことや知ったことをメモする。
- ③ エチオピアと日本との“似ているところ”と“違うところ”の対比表を作成する。
 - ・グループで、模造紙にタイトルを書き、左に“似ているところ”、右に“違うところ”を書き出し、対比表を作成する。
- ④ 振り返り・感想を書いて、共有する。



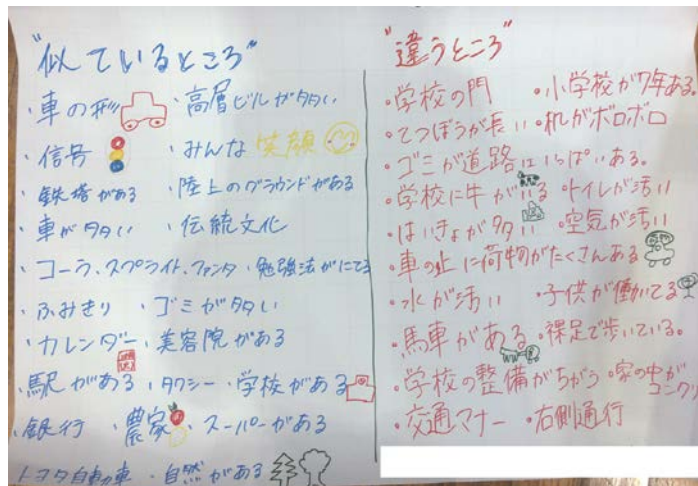
<授業の様子>

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 大量の写真を見る中で、いろいろな情報を知り、いろいろな気付きがあり、グループ内で自然に情報交換をする様子が見えかけた。
- ◇ 対比表の作成を通して、意外に日本と似ている点や全然違う点を整理していく様子が見えかけた。
- ◇ 対比表の主な意見は以下の通り。

【似ているところ】

- ・ATMがある
- ・トヨタ車が走っている
- ・祝日がある
- ・都会と田舎の差が激しい
- ・みんな笑顔
- ・コーラがある
- ・広い道でも渋滞
- ・夢がある
- ・ふみきりがある
- ・住居密集
- ・校門が立派
- ・黒板がある
- ・英語の勉強がある
- ・伝統的な文化がある
- ・田がある
- ・宗教を大切にしている
- ・店に行列



<日本とエチオピアの対比表>

【違うところ】

- ・水道がよく止まる
- ・教育制度が違う
- ・信号に時間がある
- ・道路に動物がいる
- ・主食に米がない
- ・主食がクレープ(インジェラ)
- ・右側通行
- ・車が右ハンドル
- ・路上販売している
- ・グラウンドが草まみれ
- ・学校の机イスぼろぼろ
- ・店が小さい
- ・チョークの色が少ない
- ・タクシーの車が日本と違う
- ・学校のイスが長い
- ・道を人が平気で横断する
- ・遊具が少ない
- ・学校に井戸がある

3 使用した教材

- <教材1> エチオピア紹介フォトランゲージ パワーポイント
- <教材2> 対比表作成例 パワーポイント

3 時限目「みんな違っていい」

この時限のねらい《多様性を認める》

- ・“もしも世界中の人がみんな同じだったらどうなる？”を考え、書き出す。【ブレインストーミング】
- ・縦軸を「世界とクラス」、横軸を「よいとよくない」にして、二次元軸を作成し、違いがあることを肯定的に受け止める。【二次元軸】

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング
 - ・グループ(約6人)内で一言自己紹介。お題は、「自分の好きな教科」「自分の好きなこと」「自分が友達とけんかした思い出はいつ？」の3つ。
- ② “もしも世界中の人がみんな同じだったらどうなるのか”を考え、付箋に書き出す。【ブレインストーミング】
 - ・外見も考え方も性格もすべて同じだったらという想定で考え、思ったことをどんどん付箋に書き出す。
- ③ 二次元軸を作成する。【二次元軸】
 - ・グループで、模造紙に縦軸を「世界とクラス」横軸を「よいとよくない」と書き、書き出した付箋を使って二次元軸を作成する。
- ④ 振り返り・感想を書いて、共有する。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ もしもみんな同じだったらという質問に最初は戸惑っていたが、「全員自分だったら？と考えていいよ」などと伝えると、書き出すことができる生徒が増えた。
- ◇ 二次元軸の作成は難しいだろうと予想していたが、予想以上にスムーズに作成できるグループが多かった。そして、作成した二次元軸を見て、「やっぱり、みんな違った方がいい！」という感想が多く聞こえてきた。
- ◇ 二次元軸の主な意見は以下の通り。



＜「よいこと—よくないこと」「世界のこと—クラスのこと」の二次元軸＞

3 使用した教材

＜教材1＞ 二次元軸作成例 パワーポイント

4-5 時限目「あってよい違い・よくない違い／貧困の原因を考える」

この時限のねらい 《課題を見つける》

- ・以前に作成した対比表の“日本と違う点”に注目し、“あってよい違い”と“あってはいけない違い”の対比表を作成し、よくない違いが課題であることに気づく。【対比表】
- ・SDGsの資料を読んで、グループ内で情報共有する。【ワールドカフェ方式】
- ・「戦争が起きるとどうなるか？」を考え、派生図を作成することで、課題の原因を探る。【派生図】

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング
 - ・グループ(約6人)内で一言自己紹介。4時限目のお題は、「日本のいいなと思うところ」「エチオピアのいいなと思うところ」「今の自分に何ができる」の3つ。5時限目のお題は、「自分を料理に例えると?」「もしもタイムマシンがあったら行きたいのは?そして何故?」「最近興味のあるニュース」の3つ。
- ② “あってよい違い”と“あってはいけない違い”の対比表を作成する。【対比表】
 - ・2時限目に作成した対比表の日本とエチオピアの“違うところ”を見て、あってよい違いには○をつけ、あってはいけない違いに×をつけ、その後対比表を作成する。
- ③ 「戦争」のテーマを中心に派生図を作成する。【ワールドカフェ方式】【派生図】
 - ・SDGsの資料を読んで、グループ内で説明し合い、情報共有する。その後、戦争をテーマにし、その原因は何かを考え、グループで意見を出し合いながら模造紙に派生図を作成する。さらに、他のグループの派生図を見て、いいなと思った意見には☆印をつけてまわる。
- ④ 振り返り・感想を書いて、共有する。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 一言自己紹介を毎回のように繰り返していることで、自然に誰からともなく、発表できるようになってきた。発表の後に、自然に拍手が出るなど、聞き方にも成長が見られた。
- ◇ 違いにも、あってよい違いとあってはいけない違いがあることに気づき、そのあってはいけない違いが課題になるのだということを実感できている生徒が多く見られた。
- ◇ 対比表、派生図は以下の通り。

＜あってよい違い・よくない違いの対比表＞



＜戦争が起きるとどうなるか？ 派生図＞

3 使用した教材

- ＜教材1＞ 対比表作成例 パワーポイント
- ＜教材2＞ 派生図作成例 パワーポイント

6 時限目「よくない違いはどこからくる？」

この時限のねらい《課題の原因を考える》

- ・今の自分が考える世界の課題を付箋に書き出す。【ブレインストーミング】
- ・課題の原因を掘り下げて考え、因果関係図を作成する。【因果関係図】

1 子どもの活動の流れ

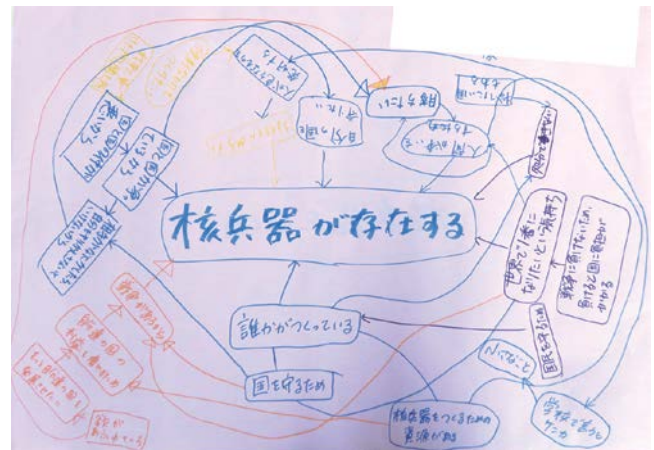
- ① アイスブレイキング
 - ・グループ(約6人)内で一言自己紹介。お題は、「好きな言葉(座右の銘)」「今まで食べたもので一番不思議だったもの」「広島研修での感想もしくは世界平和について思うこと」の3つ。
- ② 自分の今考える世界の課題を考える。【ブレインストーミング】
 - ・今までの総合的な学習の時間などを通して、知ったことや、考えたことをふまえて、自分の今考える世界の課題を考え、メモ用紙に書き出す。
- ③ 課題の原因を考えるために、因果関係図を作成する。【因果関係図】
 - ・グループで、課題を1つに絞り、その課題を模造紙の真ん中に書き、その原因は何か？を考え、意見を出し合いながら、因果関係図を作成する。
- ④ 他のグループの意見を見て周り、共有する。
 - ・他グループの模造紙を自由に見て回り、「ギャラリー方式」で意見を読み、共感したものに★マークをつける。
- ⑤ 振り返り・感想を書いて、共有する。



<授業の様子>

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 因果関係図は、派生図よりも書きにくそうな様子であったが、徐々に慣れてくると、意見を出し合いながら作成していく姿が見られた。
- ◇ 因果関係図は以下の通り。



<世界の課題は何か原因か？ 因果関係図>

3 使用した教材

- <教材1> 力の分析作成例 パワーポイント
- <教材2> 因果関係図作成例 パワーポイント

